

# ほんだなの森

がっこうとしょかんしえんいん かねこ ともこ  
学校図書館支援員 金子 智子

どくしょ 読書の秋がやってきました。図書室では、季節のコーナーなど、たくさんの本を用意して待っています。  
としょしつ 図書室には、夏の間に372冊の新しい本が届きました。今回は、その中から6冊の本を紹介します。

ていがくねんむ  
低学年向け

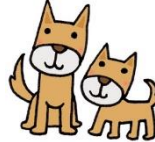
## 『どんぐりむらのぼうしやさん』



なかやみわ/さく  
がっけん 学研プラス E/な

3つぶのどんぐりたちが、ぼうしやさんをひらきました。でも、おきゃくさんがさっぱり来ません。どうして?なにがたりないのかな?どんぐりたちはかんがえます。としょしつには同じシリーズの、『どんぐりむらのぱんやさん』と『ほんやさん』もあります。

## 『がんばれ!名犬チロリ』



めいけん おおきとおる/さく うるしばらとうじ/え  
いわさきしょてん 岩崎書店 913/お

おなじ団地にすむ、2年生のちかちゃん、ゆりちゃんと5年生のけんたくんは、ある日、ごみおきばにすてられた、5ひきの子犬とお母さん犬のチロリに出会います。3人は、チロリたちをかくれて世話しながら、なんとかして守ろうと、がんばります。

## 『ねこの商売』



しやうばい はやしばらたまえ ふたまたえいごろう  
林原玉枝/ぶん 二俣英五郎/え  
ふくいんかんしょてん 福音館書店 913/は

ちかごろお客が減って困っている、おまんじゅうやさん。ある日、店の主人は「ねこのておかします」と書かれたはり紙を見つけ、電話をかけてみます。すると、「ごめんくださいにやあ」と、かわいい三毛猫が現れて、不思議なことが起こったのです!

## 『ルビィのぼうけん』



こんにちば!プログラミング』  
リング・リウカス/作 鳥井雪/訳  
しやうえいしや 翔泳社 00/り

ルビィは好奇心いっぱいの女の子。パパからの「宝石を5つかくしたから、探してごらん」という手紙と、暗号が書かれた紙を手に、冒険に出ます。プログラミングに必要な考え方がわかる本です。

## 『わたしも水着をきてみたい』



みずぎ オーサ・ストルク/作 きただいえりこ/訳  
さ・えら書房 94/す

ファドマは、学校のプールの授業はいつも見学。なぜなら、水着を持っていないから。スウェーデンに引っ越す前に住んでいたアフリカの国では、男の子も女の子も一緒に泳ぐなんて考えられないこと。水着を着てみたい気持ちはあるけれど…。

こうがくねんむ  
高学年向け

## 『考える練習をしよう』



かんが れんしゅう マリリン・バーンズ/著 左京久代/訳  
しやうぶんしや 晶文社 14/ば

かんが 考える力が足りない?と思ったら、考える練習をしてみよう。「ものみかたは1つきりじゃない」「どんなかんがも書きだしてみる」など、考え方にいてのていあんや、クイズのようなれんしゅうもんであるんりてきしこうみほんロジカルシンキング(論理的思考)が身につく本。